

令和2年度 学習案内(シラバス)

教科	理科	学年	第1学年	担当者	長谷部 秀吾 宮崎 聡
----	----	----	------	-----	-------------

◇ 理科の指導目標

自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

◇ 1年間の学習計画

月	学習内容	月	学習内容
6	植物のくらしとなかま 自然の中に生命の営みを見つけてみよう	10	4章 物質のすがたとその変化(続き)
	1章 花のつくりとはたらき	11	光音力による現象
	2章 水や栄養分を運ぶしくみ		1章 光による現象
	3章 栄養分をつくるしくみ		2章 音による現象
7	4章 動物の仲間	12	3章 力による現象
	身のまわりの物質	1	活きている地球
9	1章 いろいろな物質とその性質	2	1章 大地がゆれる
	2章 いろいろな気体とその性質		2章 大地が火をふく
	3章 水溶液の性質		3章 大地は語る
	4章 物質のすがたとその変化		3

◇ 評価方法

評価の観点(身に付けたい力)		評価方法	%
自然事象への関心・意欲・態度	自然の事物・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探究するとともに、事象を人間生活とのかかわりでみようとする。	ワーク、レポート 観察・実験・授業の取組など	25
科学的な思考・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、表現している。	定期テスト、レポート 観察・実験の取組・課題など	25
観察・実験の技能	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。	定期テスト、レポート 観察・実験の取組・課題など	25
自然事象についての知識・理解	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	定期テスト、レポート 授業の課題など	25

◇ 学習のアドバイス

○ 普段の授業の中で行うこと

授業1時間1時間を大切にし、その1時間の授業の中で最も大切なことを身につける。
工夫してノートをとる。黒板を写すだけではなく、先生の話の中で必要なこと、興味のあることなどをメモする。
できる限り発表をする。
実験には進んで参加し、記録を必ず取る。
器具の正しい操作を覚え安全に実験を行う。

○ 家庭学習の仕方

復習を中心に学習する。(できる限り、その日の授業でやったことを復習する。)
教科書の中で太文字になっている語句は必ず覚え、使えるようにする。
ワークは繰り返し行う。
定期テストが返却されたら、解きなおしをしてみる。